



—5・6年生新教材 “We Can!” をななめ読み(その1) —

これが5・6年生用新教材 “We Can!”

小学校外国語の移行措置に関して、先月21日文科省より大きな情報提供がありました。全面実施の際には各出版社の教科書となりますが、その「もと」になる5・6年生70時間分の新教材 “We Can!” のデータ公開です。

実質2ヶ年の期限付教材という位置づけですが、この内容を参考に各出版社の教科書が作られることを考えると、その重要性は明らかです。また、移行期間における15時間分の必須の指導事項は、この “We Can!” からピックアップすることになりますので、今後提示される各種資料等も含めて十分に目を通しておきたいものです。

今回は、ざっとその雰囲気を見てみましょう。We Can!1は5年生教材、We Can!2は6年生教材です。



文科省が公開した、18～19年度に小学校5、6年の授業で使われる英語の新教材「We Can!」のコピー

2020年度からの次期学習指導要領の完全実施により小学校で英語が教科化されるのに向け、文部科学省は21日、18～19年度の移行期間中に小学校5、6年の「外国語

活動」の授業で使う教材「We Can!」を公表した。「聞く、話す」活動を繰り返し、音声に慣れ親しんで「読む、書く」に取り組む構成。「五輪・パラリンピック」も題材に取り上げた。

移行期間中は正式な教科書がないため、国が次期指導要領に対応した教材を作成し、配布する。20年度から使われる教科書作りの参考にしてもらう狙いもある。

冊子とは別にデジタル教材も作成し、音声や映像も活用する。

小5、6年の英語新教材を公表 文科省、移行期に使用
09/21 16:43 更新【北海道新聞】



自治体・学校によっては、移行期間から70時間を先行実施するところもあるようですが、ひとまず必須の15時間相当の内容をどう指導するかという視点から、次回通信より少しその内容をチェックしてみたいと思います。